

イベント情報

Event Information



スペースパークボランティアまつり

●3/24(土)~25(日) 10:00~17:00

各グループが今年繰り広げた様々な活動の集大成を皆さんにお送りします。昔懐かし紙芝居、実物運転台の操作体験、科学工作、天体パズルなど。



サイエンスフェスティバル

●4/28(土)~5/6(日) 10:00~17:00

今年のゴールデンウィークの予定は...? ふれあい科学館のサイエンスフェスティバルでS.P.Vと楽しんでみませんか。科学の実験工作でみんな科学者気分!!ご来館をお待ちしています。



S.P.V 活動情報(~6月)

他に市内出張活動や駅前イベントにも出展予定

案内サービス “昔懐かし” 紙芝居

◇平日11:30~、土日祝11:30~、14:30~(約15分)
☆随時実演

科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~16:00(展示ゾーン入館者)

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内

◇平日11:00~のみ、
土日祝11:00~、15:00~(約20分)

天 文 駅前観望会

◇3/24(土) 18:30~19:30 ◇4/28(土) 19:00~20:00
◇3/31(土) 18:30~19:30 ◇5/26(土) 19:30~20:30



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承ください。

あなたの情熱が大きな夢を育てます ボランティア大募集 期間/4月1日(日)~30日(月)

今年も生涯学習ボランティアを大募集します。ボランティア活動に興味のある方、ボランティアの経験がないので...という方も、やる気と情熱さえあれば大丈夫!! 私たちと一緒に楽しみましょう。それがボランティア活動の第一歩です。お気軽にお問い合わせください。

応募方法

- ①募集チラシ・郵便はがきに必要事項を記入し郵送
- ②科学館2階展望ロビーで直接応募
- ③科学館のホームページから応募

必要事項/住所・氏名・生年月日・電話・職業・希望活動グループ・オリエンテーション受講希望日・志望動機

希望活動グループ	主な活動内容
案内サービス	展望ロビーからの風景、歴史の案内、紙芝居
鉄道ジオラマ	Nゲージ鉄道ジオラマの案内
科 学	科学工作体験のお手伝い
天 文	天体観望会のお手伝い

- ◆15歳以上、無償参加可能な方(昼食代・交通費なし)
- ◆鉄道ジオラマボランティアはJR関係者のみの募集です。

★詳しくは募集チラシやポスターをご覧ください。

登録前オリエンテーション日程 5/10(木)または5/13(日) ●時間14:00~16:00 ●場所:ふれあい科学館多目的研修室

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第13号 6月中旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024 (936) 0201まで

編集あとがき

カラー版となり早1年。「継続」の重みを感じつつ「新しいこと」へ挑戦することは簡単ではありませんでしたが、皆さんに支えられ、毎号無事発行出来たことを嬉しく思います。来年度も「S.P.Vつうしん」はますますパワーアップ!ボランティア活動という出会いが生まれるエネルギー・パワーを、紙面を通して多くの人に伝えていきたいです。(椎野)い



第12号

平成19年3月

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつうしん

発行：スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024 (936) 0201

「アクアマリンふくしま」研修記

365日無休奮闘のAMFV in アクアマリンふくしま

今回参加の会員は幸運です。朝から傘が無くてもいい程度の春雨、この様な日に仲間同士がバスで視察研修旅行できるのでから。

行き先は、ふくしま海洋科学館、愛称「アクアマリンふくしま」です。そこでは、私たちのボランティア活動の先輩であり、お手本となる「アクアマリンふくしまボランティア(AMFV)」が自主活動を行っています。

雨の中笑顔で迎えられ、担当職員の松本さんから約30分間概要の説明を受けました。質疑応答の時間は、会員から次々と質問が出されました。「活動時間」「活動人数」「研修」等に関連する内容が多く、松本さんの回答の中にボランティアといえどもきめ細かいフォローと、活動の質向上に向けた運営がなされていることが感じ取り、見習う必要性を感じたのは私だけではないと思います。



その後、2時間ほど自由行動となり、直行エスカレーターで4階の「ふくしまの水辺と海辺」からスタート。次々と現れる海の生き物達。子供達と同じく出るのは驚喜の言葉。



あつ、「居ました、居ました。」3階には伝馬船でAMFVのボランティアの方が頑張っています。3階から2階にかけてはあちらこちらでAMFVの方の活動姿を拝見しました。当会の会員は昨

年話題となったシーラカンスのコーナーに見入ったり、また、AMFVによる案内・解説のバックヤードツアーに参加するなど真剣に研修していました。



現在、AMFVの会員数は213名、第9期生が3ヶ月間の研修中。その数なんと50名とのこと。4月には正式に登録するのですが、「長続きしない人が多いことが悩み」は、会長さんの言葉。



また、今年度からアクアマリンは年中無休となりました。AMFVの担当場所が決まっているだけに、常に人数確保と配置の調整に役員の方が中心に奮闘していました。

丁度午前と午後の担当切り替えミーティングに同席でき、本人の希望を優先しベテランがカバーする、そのために午後活動も継続するなど、苦労の一部を垣間見ました。因みに当日の活動者は午前11名、午後14名とのことでした。

帰る頃になって雨が上がりました。眺めのよい部屋での昼食時、天気によければいわきの美しい海岸が眺められたのに、と恨みもしましたが...

全体にゆとりを持ったスケジュールで、帰りの車中では研修アンケートも完成させ、明るいうちに戻ることが出来ました。参加者/館の担当者に感謝感謝。研修成果が楽しみです。

(久野 功)

案内サービスグループ

まずは、案内サービスグループの紙芝居コーナーに乱入?です。今日、活動されているのは、今年度、新しくボランティア仲間入りされた早野さんです。

紙芝居が始まる前はちょっぴりドキドキ...?していた早野さんもお客様の顔を見れば堂々としたものです。(→でも、本当は緊張していたそうです。)

それではここで大役を終えた早野さんにインタビュー!

- Q ボランティアをはじめたきっかけは何ですか?
 A 退職後に広報誌を見て応募しました。科学・天文グループは専門的かと思ったので案内サービスグループにしました。(→いえいえ、そんなことはありません。はじめての方も大勢活動されていますよ。)
- Q 今後の目標は?
 A まずは自分が楽しむこと、そして、たくさんの人と出会いたいです。



科学グループ

次は科学グループに同行です。笑顔とともに登場したのは星さんです。ボランティア歴は2年目。科学はワークショップカウンターで、季節ごとにメニューを変えて色々なものに挑戦しているのですが...今回は一体何を作っているのでしょうか?へー...。そうやって作るんですね。お客さんも真剣な表情で取り組んでいます。

ここで星さんにもインタビュー!

- Q ボランティアをはじめたきっかけは何ですか?
 A 科学館が大好きなので、ここでの活動に興味がありました。(→科学館主催の「天文カレッジ」に参加の際スカウトされたそうです。)
- Q 今後の目標は?
 A 「なぜ?」という疑問を通して、理科の楽しさを伝えていきたいです。



お客様の「自分で作った」という満足感・達成感にあふれた笑顔が大好き!と語る星さん。これからも頑張ってくださいね。



長く続けていきたいと話してくれた早野さん、これからも頑張ってくださいね。

何と、今回は初の試み! 広報部が総力をあげて?各グループに 同行取材を敢行!!

「わあー、こんな活動やっているんだ。」と興味を持たれた皆様。是非、科学館まで足を伸ばしてみてください。ボランティア募集も、もうすぐ受付開始です。

鉄道ジオラマグループ

続いては鉄道ジオラマグループです!

今回、日本最大規模のNゲージ鉄道ジオラマの前でお話いただいたのは、新田さんです。ボランティア歴5年目のベテランです。そっと耳を近づけてみると、国鉄OBとして若かりし日々の経験談や、郡山の歴史なども盛り込みながら楽しくするための話がたーくさん! ついつい引き込まれてしまいます。

新田さんにも早速インタビュー開始です。

- Q ボランティアをされていて嬉しかったことは?
 A 「ありがとう」の言葉です。
 Q 今後の目標は?
 A 後輩にこの活動を受け継いでもらう橋渡しの存在になれば...と考えています。



目を輝かせて話してくれた新田さん。鉄道を愛する気持ちが強く伝わってきました。

天文グループ

締めを飾るのは天文グループ! まずは車に乗り、館外へ出発! 着いた所は...? 郡山市青少年会館でした。今日はここで宿泊学習をしている、市内の小学3・4年生に星を見せてあげるそうです。

...あつ、皆が来たようです。子どもたちの歓声に、「あの星はね〜...」と説明にも力がこもります。助っ人の仲間たちも合流して、和気あいあいとした雰囲気です。



お疲れさま~! 車中でインタビュー開始です。

応じてくれたのは、伊東さんと宮嶋さんのお二人です。

- Q ボランティアをはじめた楽しかったこと・嬉しかったことは何ですか?
 A 子どもの純粋な笑顔や気持ちに触れることができることです。(伊東) 郡山の色々なところに行けることです。(宮嶋→県外出身だそうです。)
- Q 今後の目標は?
 A 知識を増やして、たくさんの方にすぐ答えられるようになりたいです。(伊東) 出来るだけ活動へ参加する回数を増やしたいです。(宮嶋)



星が大好きなお二人! そのロマン・神秘性に思いを馳せていました。

今号のきら星☆さん 母子で参加

未来博の時、親子紙芝居を始めたのがきっかけで、案内ボランティアをやってみようと思入会しました。22階の展望ロビーから見る景色は、本当にパノラマを見ているようで感動したものです。また、郡山市立大成地域公民館での出張ボランティアや、安積開拓の見学会が印象に残っております。郡山に住んでいても、わからない事ばかり、これからも郡山の歴史等、いろいろと勉強していこうと思っております。郡山市のランドマークタワー「ビッグアイ」そして「郡山市ふれあい科学館」をもっと沢山の人達にも見に来てほしいと、願うばかりです。(母 降矢トメ子)

私達が他の方々と違うのは、母と娘のワンセットで参加させていただいている点です。紙芝居は、セリフを二人で分けます。声が同じというのが難点ですが、聞いて下さる方には喜んでいただけるようで、その度にまたがんばろうと思えます。展望ロビーからの眺めも最高です。上から見ると、車はミニカー、天気の良い日は磐梯山まで見えます。何よりも先輩方がいろいろ教えてくださるので、続けていきたいです。(娘 降矢広子)



天ボラの知識泉① 土星

南の空に並んで輝くふたつの星。ひとつは、し座の一等星レグルス。もうひとつは、大きな輪を持つ姿でおなじみの土星です。今年は、このふたつの星の競演が、春の宵を楽しませてくれます。すぐに、その姿を思い描くことができるほど存在感のある土星が、水に浮かんでしまうほど軽いついて、知っていましたか?! 土星は、ガスからできているため大ききの割りに密度が小さいのです。もちろん、土星が入るくらい大きなプールがあれば...の話ですが。あの板のように見える輪も、数mから数cmの氷の粒が集まってできています。とても不思議で、おもしろい惑星ですよ。(谷口)

度が小さいのです。もちろん、土星が入るくらい大きなプールがあれば...の話ですが。あの板のように見える輪も、数mから数cmの氷の粒が集まってできています。とても不思議で、おもしろい惑星ですよ。(谷口)



内田博士の魂の叫び!! ⑥ 『なくてはならないもの』

街を歩く人々を眺めると、服や靴、カバン、眼鏡等々、結構お洒落に気を遣っている人が淡々と無表情で行き交うのだが、空から一滴の水が落ちてきたことを察すると、例外なく同時に皆、手のひらを「表」にして上を見上げ、中には歩みを速める人もいたりする。

実はここからが面白い。次第に落ちてくる水の量が増えてきたとなると、目的地に向かうことが目的なのか、取り急ぎ濡れないことが目的なのか他から見ては判らないほど、やれやれと身なりなど構わず走っている。やがて、傘をさした人が登場し、次第に街は傘のパレードになるのだが、不思議と「傘」に洒落っ気やこだわりを持っている様子を覗くことはまずないと言ってよい。多くの人は、ビニール傘を好んで使用している。

異国や、近所からきた人であるならば理解出来るのだが、日本、とりわけ自分の住んでいる地域に雨が少いか少ないのか、時期的にどうなのかは承知しているはずなのに、「傘」にこだわりを持つ人が意外に少ないのは寂しい。なくてはならないものなのに...、と考えたりする。

雨が降らなければ、農作物に深刻な影響を与えることは百の承知なのだが、やはり雨は嫌い。洗濯物は乾かないし、気分がなぜか憂鬱になったりするし、ましてや自分が屋外にいるときは濡れるし、汚れるし尚更だ。なくてはならないものなのに...。実は私たちが「なくてはならないもの」をないがしろにしてしまっていることが以外に多い。(内田)

